

# オオカミが伊豆を救う！

伊豆市文化協会では総会のあとに講演会を開催します

**日本オオカミ協会会長 丸山直樹氏講演**  
**文化協会会員以外の方でも無料で入場できます**  
**お誘いあわせのうえお出かけ下さい**

日 時：平成 26 年 4 月 12 日（土）15 時～16 時  
（総 会 終 了 後）

場 所：生きいきプラザ ホール

連絡先：伊豆市社会教育課（伊豆市文化協会事務局内）

電話 0558-83-5478

★ 丸山直樹（まるやま・なおき）氏のプロフィール

一般社団法人日本オオカミ協会会長。

1943 年生。東京農工大学農学部林学科卒（1966 年）。農学博士（北海道大学）。

専門：野生動物保護学、自然保護文化論。

略歴：1966 年新潟県林業試験場技師、1968 年より東京農工大学助手、助教授、教授を経て 2007 年退職。東京農工大学名誉教授。内モン呼倫貝爾学院客員教授。

著書編著：「地球は誰のもの」（岩波書店）、「オオカミを放つ」、「オオカミが日本を救う」（白水社）等。

★ 講演要旨

一世紀前の頂点捕食者オオカミの絶滅と近年の狩猟活動の低下により、増えすぎてしまったシカの食害で、全国の自然生態系はボロボロになりつつあります。

森林植生の劣化は、土壌の消失や河川・地下水の減少を招き、沿岸生態系にも影響を及ぼし、野鳥・昆虫・土壌動物も激減、河川や沿岸の魚類はじめ生物多様性を限りなく低下させます。

最大の原因は、シカの増えすぎを抑制する自然システムが失われたままになっていることにあります。恒久的な効果を持つ根本的な対策は、生態系の自動調節機能の回復をはかり、シカを適正密度まで減らして安定させることなのです。そのためにはオオカミを再導入することが必要です。今や、オオカミはじめ野生生物の復活・保護は、国際的世論です。豊かで美しい森と海、やさしく親切な住民、伊豆のかけがえのない財産を守り育てるためには、オオカミの復活は欠かせません。

